## 年間授業計画

科目 書道 [ 高等学校令和7年度(3・4学年用) 教科 芸術

教 科: 芸術 科 目: 書道 [ 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3・ 4 学年

使用教科書: (光村図書出版 書 I )

教科 芸術 の目標:

, 二… 【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する項目の特質について埋解するとともに、意図に基ついて表現するための技能や知識を身に付ける ようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 
生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、 
豊かな情操を培う。

科目 書道 I

【思考力、判断力、表現力等】 【知識及び技能】 【学びに向かう力、人間性等】 の基礎的な技能を身に付けるようにする。 している。

	指導項目・内容		表現					当に	0	配	
	単元の具体的な指導目標	(1) 指導事項 (2) 教材・ICT等	漢仮	漢	仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	当
	・書へのいざない ・書写から書道へ ・書体の変遷を知る ・臨書とは何か ・用具、用材の特徴と表現効果	(0) 書を通じて、自己の内面を 記述しよう (1)書はどのような芸術か考える ・漢字の書体と変遷を知る ・各書体について、字形や特徴を 理解する (2)用具・用材 ・碑と拓本 ・臨書から創作へ		0		0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している。書体・書風を理解している。 【思】書の良さ・美しさを味わって捉えている。 【主】書の良さや美しさを感受し、主体的に取り組んでいる。	0	0	0	7
1 学	・古典に基づく学習 ・さまざまな楷書古典を知る ・楷書の特徴を理解し、書風の 相違を感得する	(1) 隋と唐の文化について知る ・楷書の特徴を理解し、楷書古典 の書風の相違を理解する (2) 孔子廟堂碑・九成宮醴泉名な ど		0			【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる。	0	0	0	9
期	・古典に基づく学習 ・さまざまな楷書古典を知る ・楷書の特徴を理解し、書風の 相違を感得する	(1) 楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する (2) 雁塔聖教序・顔氏家廟碑など		0		0	【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる。	0	0	0	9
	・行書 ・行書の特徴を理解する ・さまざまな行書の古典を知る ・王羲之の書道史上の重要性を理解する ・顔真卿の思いと表現を理解する ・日本の書の芽生えを知る	(1)行書の表現の多様性にふれ、 行書の特徴を理解し、行書古典の 書風の相違を理解する (2)集王聖教序・争座位文稿・蘭 亭序・風信帖など		0		0	【知】行書の古典の書体や書風と用筆・運 筆について理解している。 【思】行書の古典の価値とその根拠につい て考え、書の良さや美しさを捉えている。 【主】行書の臨書を通してその書美を学ん でいる。	0	0	0	7

2 学	・草書 臨書を通して草書の筆使いを理 解する ・隷書 隷書の生まれた過程や背景を知 り、特徴を理解する			0		0	【知】草書が成立した過程や特徴を理解している。 隷書の直線化、波勢を理解している。 【思】草書の特徴の点画の連続や省略を捉えている。 【主】漢字の書の幅広い表現に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	9
	・篆書 小篆の筆使いの特徴を理解する 伝統と文化についても理解する ・篆刻 篆刻について理解し、篆刻の仕方 について学習する			0			【知】篆書が成立した過程や特徴について理解している。 即の使い方や種類を理解している。 【思】縦長・左右対称・水平・垂直を捉えている。 【主】幅広い表現と鑑賞に主体的に取り組んでいる。	0	0	0	9
	・篆刻 ・篆書の特徴を生かして、草稿・ 印稿・運刀などができる ・篆刻の準備と手順について理解 し、姓名印を刻る			0		0	【知】篆刻の意義や選文から補刀までの制作手順を理解している。 【思】篆刻の歴史を知り、自分の印に工夫を加えている。 【主】主体的に姓名印を刻し、作品に押印している。	0	0	0	9
	・仮名の書を学ぶ ・仮名の基本用筆を理解する ・仮名の成立と種類を理解する ・連綿と単体、線質や字形を生か した表現を身に付ける ・散らし書きを理解する	(1)日本の名筆を日本の伝統的な 書の美を感じる ・仮名の基本的な線・運筆を理解 し練習する ・用具・用材を理解する (2)蓬莱切・高野切古今和歌書 (第三種) など			0	0	【知】古筆を知り、仮名の成立について理解している。 【思】名筆を生かした表現、幅広い表現について工夫している。 【主】主体的に仮名の書の幅広い学習活動に取り組んでいる。	0	0	0	6
	<ul><li>・仮名の書の作品制作</li><li>・臨書から創作へ</li></ul>	(1)作品制作の手順を知り、表現 を楽しむ ・仮名の書で学んだ古典の特徴や 技法を生かして創作する (2)創作作品			0	0	【知】仮名の書の線質・字形・構成等の表現効果を理解している。 【思】意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 【主】古典の特徴や技法を生かして取り組んでいる。	0	0	0	4
3 学期	・漢字仮名交じりの作品制作 ・臨書から創作へ ・自分自身の表現を求める	(1)漢字と仮名の調和を学ぶ ・言葉と表現の関係を考える ・自らの思いや感動する語句を選 び、作品を構想する (2)創作作品	0			0	【知】用筆・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している。 【思】 漢字と仮名の調和した字形・大きさ・構成などを工夫している。 【主】主体的に自分らしい表現作成に取り組んでいる。	0	0	0	5
	・生活の中の書 ・葉書や手紙の書式を学ぶ ・暮らしの中に書を積極的に生か す	表現技法が募らしの由に生かされ	0	0	0	0	【知】目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 【思】書を生活の中に生かす表現を工夫している。 【主】主体的に生活の中から書を探し、特徴を作品に生かすように取り組んでいる。	0	0	0	4
											合 計 78